

比較家族史学会

会報 比較家族史 79

事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株)毎日学術フォーラム内 比較家族史学会 ☎:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

Email:maf-jscfh@mynavi.jp 郵便振替 00130-4-25222(名義 比較家族史学会)

2022年 比較家族史学会 第71回 秋季研究大会のご案内

【日程】 2022年10月15日(土)

【会場】 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 大会議室(303)

【開催方法】 対面とオンライン(Zoom)によるハイブリット開催

【参加費・申し込み】 無料・要事前申込み(非会員も参加可)

・申し込み：[専用申し込みフォーム](#)(リンクしています)

また、以下のURLからも申し込めます。

<https://forms.gle/AsJbuTCw8vQTiMeY9>

・参加申し込み締め切り：2022年10月9日(日)

【参加方法】 申込者に大会前に ZOOM 参加に必要な URL 及びレジュメ入手方法を連絡

・対面参加申込の方：現地へのアクセスはこちら

<http://www.aa.tufts.ac.jp/ja/about/access>

・オンライン申込の方：大会前に ZOOM 参加に必要な URL 等及びレジュメ入手方法を連絡。

【協力】東京外国語大学 基幹研究(人類学)

「社会性の人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容/不寛容の機序」

NPO 法人 FENICS (分野を超えたフィールドワーカーのためのネットワーク)

【プログラム】

10月15日(土)

10:30~10:35 会長挨拶 小池誠(会長・桃山学院大学)

10:35~10:37 大会運営についてのお知らせ

10:37~11:05 自由報告 司会 西野理子(東洋大学)

10:40~11:05

孫詩彧(北海道大学大学院)

「子育てしながら家事するとはどういうことか?—家事役割の特性をめぐる検討—」

11:05～11:10 休憩

11:10～17:00 シンポジウム

テーマ 「新型コロナウイルス禍による家族研究の困難と可能性」

司会 中島満大 (明治大学)

11:10～11:15 趣旨説明 中島満大 (明治大学)・椎野若菜 (東京外国語大学)

I 11:17～12:10

①白石大輝 (慶應義塾大学大学院法学研究科・博士課程／近代日本法制史)

「コロナ禍における家族法史研究—比較法をめぐって—」

②田中美彩都 (学習院大学東洋文化研究所・助教／近代朝鮮史)

「コロナ禍における人的ネットワークの重要性—近代朝鮮家族史を専攻する若手の立場から—」

12:10～13:00 休憩

II 13:00～14:20

③柳煌碩 (日本大学・非常勤講師／教育社会学)

「コロナ禍における社会調査の経験と課題」

④黒岩薫

(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科・博士後期課程／家族社会学)

「新型コロナウイルス禍による家族研究：高校生を対象としたグループインタビューを用いた研究事例から」

⑤姜民護 (同志社大学社会学部社会福祉学科・助教／子ども家庭福祉)

「新型コロナウイルス禍における子ども家庭福祉研究の困難さと可能性」

III 14:25～15:20

⑥李婧 (東京都立大学大学院人文科学研究科・博士課程／社会人類学)

「コロナ禍による地域行事と親族の変容—東京都王子における「狐の行列」と家族のつながりの事例から—」

⑦浅井彩（東京都立大学大学院人文科学研究科社会人類学・博士課程／社会人類学）

「インド・デリー、野菜売り一家の家計とコロナ禍」

15：20～15：40 休憩

15：40～17：00 フロアーからの質疑応答・コメント

17：00～17：10 閉会挨拶 床谷文雄（副会長・奈良大学）

【シンポジウムの趣旨】

中島満大（明治大学）・椎野若菜（東京外国語大学）

2022年度比較家族史学会秋季研究大会は、「新型コロナウイルス禍による家族研究の困難と可能性」をテーマとして設定し、博士課程在籍者や博士課程修了後テニユアポストを目指す研究者、もしくはコロナ禍によって研究や調査を中断・延期・変更した研究者を募り、家族に関する調査の困難やこの非常事態に切り開かれた新たな研究の可能性について報告してもらおう。報告内容については、現在進行中の調査に関する報告であったり、コロナ禍で既に実施された調査の検討であったり、通常のシンポジウムよりも家族に関する調査のプロセスに焦点をあてていく。

今回は、法学、家族社会学、人類学、歴史学、社会福祉という領域の研究発表を軸に、学問領域だけでなく、さまざまな家族研究の調査法を横断しながら、コロナ禍における家族研究の困難と新たな展望を共有できることを本シンポジウムでは目指す。

【大会運営委員長・委員】 椎野若菜（委員長・東京外国語大学）、中島満大（明治大学）、野辺陽子（日本女子大学）、李璟媛（岡山大学）

委員会報告

【庶務委員会】

(1) 会員メーリングリストについて

イベント紹介など、皆さんに届けたいことがありましたら、庶務委員までお知らせください（平井 hirai@penguin.kobe-u.ac.jp）。

(2) 会員情報の変更

会員情報に変更がある場合は、学会事務局までご連絡ください。所属・住所などの変更のほか、65歳以上の会員で特別会員を希望する場合、10年以上継続して会員で終身会員を希望する場合にもご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、会報をはじめ、種々の案内はMLでお送りしています。メールアドレスを変更された場合にも、学会事務局までご連絡ください。

(3) 会費納入

会費未納の方には再度、振込用紙を郵送いたします。本学会は、学会費によって維持されています。学会費が未納の会員については、学会費を納入していただきますようお願い申し上げます。

(4) 理事選挙

前回の『会報』でもお知らせしましたように、来年は理事交代になります。12月に投票用紙をお送りし、1月に返信いただく予定です。選挙権者・被選挙権者については、会費納入が済んでいることが条件となりますので、ご注意ください。

【編集委員会】

『比較家族史研究』第36号を今春に刊行し、現在は第37号を編集中である。特集として、昨年の秋季大会および今年の春季大会にご登壇いただいた方々の講演等を掲載予定である。

また、この春に投稿規程と執筆要項の改定を行った（学会ウェブサイトに掲載）。

【その他の報告】

比較家族史学会が監修している小島宏・廣嶋清志編著『家族研究の最前線④ 人口政策の比較史 せめぎあう家族と行政』日本経済評論社のオンデマンド版が販売された。

2022年度比較家族史学会総会報告

(1) 2021年度会計報告

「2021年度決算報告書（一般会計）」および「2021年度決算報告書（特別会計）」が、会計監査である藤井勝会員、高井康弘会員からの決算書に問題はないという報告を受けて、6月19日開催の理事会にて承認された。

(2) 2022年度予算

「2022年度予算案」が6月19日開催の理事会にて承認された。

理事会議事抄録

2022年5月22日（土）にオンラインで開催された理事会の議事録抄録を掲載します。

1. 庶務委員会

(1) メール不達者とメールを利用していない方への会報送付

会費を支払っているメール不達者とメールを利用していない者については、終身会員と同様に事務局より会報を送ることが承認された。

2. 編集委員会

(1) 投稿規程および執筆要領の改定について

投稿規程と執筆要領を、基本的に「字数」で統一すること、字数に図表・注・文献リストを含めること、図表の字数換算方法を、執筆要領で明記することが承認された。また投稿規定に「本規程の改廃は、総会の承認を経なければならない」という文言を追加することが承認された。

(2) 『比較家族史研究』第36号

文献紹介の掲載取り消しについて、報告があった。

(3) 『比較家族史研究』第37号

特集、投稿、書評・紹介、特集企画などの編集状況の報告があった。

3. 企画委員会

(1) 2022年度秋季研究大会について（案）

2022年10月15日（土）に東京外国語大学（委員長：椎野若菜会員）で対面とオンラインを含めたハイブリッド形式を前提として準備しているが、状況によっては変更する可能性もあることが報告された。またシンポジウムは会員でなくても報告できることが確認・承認された。シンポジストの『比較家族史研究』への投稿についても、秋季研究大会後、検討することになった。

(2) 2023年度春季研究大会について（案）

日本女子大学（委員長：野辺陽子会員）において開催を予定しており、その進捗状況が報告された。またシンポジウムの討論者が決定し、承認された。